

1998年頃から、「グローバル・スタンダード」や「グローバリゼーション」ないし「グローバル化」といった言葉が、我が国を席卷している。このような言葉で表現される新しい流れは、世界の他の国々でも見られるものである。ここで「グローバル・スタンダード」とは、工業製品や金融システム・経営システムを中心とするが、場合によっては政治や法制度に関しても用いられる言葉であり、世界的に通用する基準・規格・規範といった意味で使用されている。また、「グローバリゼーション」ないし「グローバル化（地球化）」とは、ある基準などが国家を超越して地球全体の規模に拡大することといった意味で使用されている。

上記に関して、次のAからDまでのそれぞれにおいて〈社会の現状〉に対する具体的言及を織り込みつつ、1の条件下でAとBの議論を、2の条件下でCとDの議論を、解答用紙のAからDまでの各欄に、各300字以上500字以下で書きなさい。なお、〈社会の現状〉として採り上げる事例は、AからDまでのそれぞれの設問で、同じものでもよいし、異なったものでもよい。

- 1 今日の日本社会において、
 - A 「グローバル化」は不十分という現状認識にたって、その推進を主張する議論
 - B 「グローバル化」の行き過ぎを懸念する立場にたって、上記Aに対抗する議論

- 2 視野を世界に広げ、ある国際機関で各国代表者が討論する場を想定したうえで、
 - C 「グローバル化」とは即ち「アメリカ化」とであると主張し、「グローバル化」を批判する議論
 - D 「グローバル化」とは「アメリカ化」とは異なるとして、上記Cに対抗する議論

解答作成上の注意

上記AからDまでの4つの議論は、それぞれ独立のもののみなし、独立に採点します。そのため、他の欄で書いたことでも、必要な場合には議論を繰り返して下さい。